

サステナブルな地域社会に向けて ～武蔵野銀行の取組み～

武蔵野銀行では「SDGs宣言」のもと、サステナブルな地域経済・社会づくりに向け、自ら取組んでいるのは勿論ですが、地域の皆さまとの連携・協働や事業者の皆さまへの働きかけなどにも注力しています。

特に、経済や社会の基盤となる環境への対応については、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同およびそれに基づく開示充実を進めているほか、当行独自に制定した「環境方針」のもと、実効性の高い取組みを目指しています。

武蔵野銀行SDGs宣言
(2019年3月制定)



TCFD提言への賛同
(2021年9月表明)



生物多様性への取組み

生物多様性を高める植栽を行うなど、環境に配慮した店舗・拠点づくりに取組んでいます。本店ビルの「武蔵野の森」では、関東在来の低木類や荒川流域の雑木林からの山採りの植物による植栽を行い、金融機関の本店として初めて「JHEP」*認証を取得しました。

JHEP:生物多様性を高める事業を評価する
公益財団法人日本生態系協会の認証制度



本店ビルの「武蔵野の森」

気候変動への取組み

本業である融資やコンサルティングを通じて、事業者の皆さまの脱炭素化の促進など、持続可能な企業行動への働きかけを行っています。

また、温室効果ガス排出量削減など、TCFD提言を踏まえた取組みを強化するとともに、情報開示の充実に努めています。

サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指しています。



従業員への環境教育

当行では、従業員一人ひとりがサステナブルな地域社会の担い手であるとの認識のもと、積極的な環境教育を行っています。

2022年に開講した「ぶざん環境カレッジ」では、独自のカリキュラムのもと、専門家による講義やフィールドワークを通じて、県内の環境保全に貢献しうる人材の育成を目指しています。

また、新入行員研修では、荒川河川敷で外来植物駆除活動を実施し、地域における生物多様性の重要性を体感できる機会を設けています。



ぶざん環境カレッジの
フィールドワーク



新入行員の外来植物駆除活動

地域創生スペース 「M's SQUARE」での情報発信

本店ビル2階の地域創生スペース「M's SQUARE」では、SDGsや埼玉の河川などをテーマとした展示やセミナーを行っています。こうした取組みを積み重ねていくことで、サステナブルな地域社会の実現に向けた情報の発信拠点となることを目指しています。



埼玉県と連携したSDGsパネル展



みんなで知ろう埼玉の川「知るリバ」

ひこばえ

(第6集)

公益信託武蔵野銀行みどりの基金 創設30周年記念誌

2023年3月発行

編集・発行 株式会社武蔵野銀行

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-8 TEL:048-641-6111(代表)

URL:https://musashinobank.co.jp

